

白髪一雄記念室 第21回展示

寄贈・寄託作品選Ⅲ

白髪一雄の版画を中心に

S H I R A G A K A Z U O



《繁》「白髪一雄 版画集 1990」

2023.4.22 sat — 8.13 sun

尼崎市総合文化センター 白髪一雄記念室

休館日 火曜日 開館時間 10:00～17:00 (入館は16:30まで)

入場料 一般200円 シニア(65歳以上)・大高生100円 中学生以下無料 ※障がい者手帳等をお持ちの方は半額、その介助者の方1名は無料。

「白髪一雄 版画集 1993」
令和4年度寄贈



《オレンジの中の円》



《黒の円》



《赤い旗》

「白髪一雄 版画集 1990」
平成3年度寄贈



《溪》



《兎》

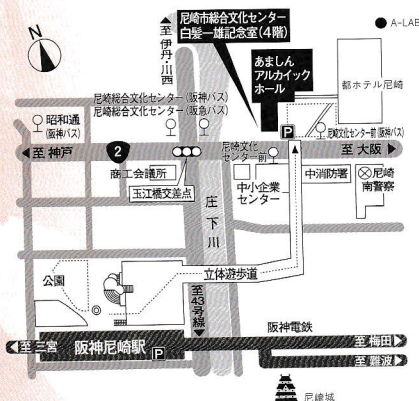


《布》

本展では、白髪一雄(1924-2008)の版画作品を中心に展示します。床に広げたキャンバスに大量の絵の具の塊を置き、縦横無尽に足で描く独自の技法「フット・ペインティング」で知られる白髪ですが、今回ご紹介する版画は、こうした作品とはまた異なる魅力を放っています。筆や刷毛等を用いて描かれた原画をもとに制作された版画からは、墨画に親しむこともあった白髪の、躍動感あふれる筆遣いを感じることができます。平成3年度に白髪一雄自身から尼崎市へ寄贈された作品「白髪一雄 版画集 1990」(7点組)や、令和4年度に個人等から寄贈され、新収蔵品となった「白髪一雄 版画集 1993」(3点組)など、色鮮やかな版画の世界をご覧ください。

“—— 版画の制作にあたり、私は最初どうしてよいのかわからず、手のつけようも無い状態であった。だが或る日突然、いつもの油絵制作方法をそのまま活かせばよいのだと気付いた。私の作画法はオートマタズムである。だから何も考えないで無心になって、どんどん描いておかまいなしに、どんどん刷り重ねて貰えばよい。そこには勝手に面白い形や色調が出来るであろう ——”

「白髪一雄 版画集 1990」より一部抜粋



【アクセス】

- 阪神尼崎駅より 立体遊歩道で徒歩約5分(国道2号線沿い)
- JR尼崎駅より 阪神バス(尼崎市内線)②→阪神尼崎行「尼崎総合文化センター」下車すぐ
- 阪急塚口駅より 阪神バス(尼崎市内線)③→「昭通通」下車徒歩約5分 阪急バス⑤→「尼崎総合文化センター」下車すぐ
- 有料駐車場あり(30分200円/1日最大1,000円・普通車)

◎作品解説

6月17日(土)、7月29日(土)いずれも14:00~(約30分)
[定員] 各日10名 [申込み] 不要
[参加費] 無料(白髪一雄記念室の当日券が必要です)

◎同時開催

魚へのまなざし — 長嶋祐成と大野麥風 —

透き通るような水彩を用いて魚を描く長嶋祐成(1983-)と昭和初期に「魚の画家」として名声を博した大野麥風(1888-1976)の二人による魚の絵の展覧会。

会場: 尼崎市総合文化センター 美術ホール

会期: 2023年5月27日(土)~7月2日(日) 火曜日休館

入場料: 一般700円、シニア(65歳以上)・大高生600円、中学生以下無料
開催期間中、同展の入場券で白髪一雄記念室もご観覧いただけます。